

ゲム系編集トマト苗の小学校西配布に反対する活動についての報告

<これまでの経緯>

2021年秋、バイオエコサイエンス社は全国の高齢者施設や小学校にゲム系編集でつくられたトマトの苗を2023年春に無償西配布すると発表しました。
これを受けて2022年6月、長里野単協からこの苗の無償西配布に反対する活動の提案がありました。
1伊那ブロックでは各支部が判断をして活動することとなりました。
1伊那支部では、1伊那市と宮田村の二つの自治体に働きかけをしました。

<活動報告>

1) 1伊那市

- 9月の市議会定例会での採択を目指し8月から活動を開始
 - 8月18日、以下の陳情書を議会事務局提出しました。
 - ① 食の安全を守るため、小学校にてゲム系編集トマト苗を受け取らないことを求める陳情書
 - ② 食の安全を守るため、小学校にてゲム系編集トマト苗を西配布させない措置を求める意見書の提出についての陳情書
 - 8月31日、事前に系事務委員会にて支部委員長(青藤)/副支部委員長(平林)が陳情内容の説明、傍聴には系組員が多数参加しました。
 - 9月13日、同委員会にて、委員会として趣旨採択と決定されました。
 - 9月16日、1伊那市議会定例会にて二つの陳情書共に趣旨採択となりました。
- * 趣旨採択とは、陳情内容に賛同はするが今後議会としては具体的な行動は可もしませんということ。よって、受け取らないという決定には至らず。

2) 宮田村

- 8月23日 宮田村議会・福祉文教委員会に、1伊那市陳情①とほぼ同内容の言青原書と意見書(案)を提出しました。
- 9月12日 同委員会にて趣旨説明、質疑応答の上、全会一致で言青原書が採択されました。
- 9月15日 宮田村本会議にて「委員会発議」が行われ全会一致で可決されました。

<現状と今後の活動予定>

1伊那市では残念ながら趣旨採択となりましたが全国各地でこの様な反対活動が行われたことで正式な発表はされていないものの企業側が方向転換をはかっているという情報もあり、今後小学校への苗の一斉無償西配布自体がなくなる可能性も出てきました。

今後は企業の働きをみながら1伊那ブロックで改めて話し合いをし、支部としてどのような活動をしていくか考えていきたいと思っています。

生活クラブとしては、ネット直が選ぶものがどの様に作られたものかがきちんと表示され、安全な食を自らの意思で選ぶことができる様に今後も求めていきたいと考えています。

<動画視聴>

- 日本消費者連盟 「ゲム系編集食品の真実」
- TBSニュース 「ゲム系編集食品に不安の声」

<伊那市支部組合員のみならず、ハガキ運動のおねがい>

ゲム系編集されたトマトや苗、トマトピローレ等の加工品はすでにネット上で見売されています。また、個人での購入にとどまらず、今後様々な企業がゲム系編集されたトマトを加工品に使用する可能性もあります。私たちがそのような未来に反対する声を、企業に直に一斉に伝えることは大きな力になります。

そこで、賛同いただけるみなさんにお原真いがあります。

西に布した別紙を参照ください。